



特別編集

歴史も！グルメも！観光も！

ご参拝ガイド



親鸞をめぐる



親鸞聖人って
どんな人？



- ・親鸞聖人人物相関図
- ・全国ゆかりの地MAP
- ・各派ご本山へご参拝
- ・おもな年間行事

～各派ご本山～

- ・西本願寺
- ・東本願寺
- ・佛光寺
- ・興正寺
- ・専修寺
- ・錦織寺
- ・毫攝寺
- ・誠照寺
- ・専照寺
- ・證誠寺



親鸞聖人
ゆかりの地へ



親鸞聖人 ってどんな人？

関係寺院は全国に2万3000カ寺、
門信徒数2000万人以上ともいわれる
浄土真宗の宗祖・親鸞。
数々の苦難に遭いながらも、
お念仏とともに力強く生きた生涯を
たどってみよう

Q1 いつの時代の人なの？

親 鸞が生まれたのは、飢饉や戦乱、自然災害が相次いだ平安時代末。釈迦の没後長い年月が過ぎて仏法が衰える「末法の世」の始まりとされ、救いを求める権力者は、阿弥陀如来を安置する寺院を相次いで建立しました。親鸞が生きたのは、公家中心の社会から武家社会へと移る、変革の時代でもありました。

Q2 何をした人なの？

日 本最大の仏教宗派である浄土真宗の宗祖。浄土宗を開いた法然の「念仏を称えれば平等に往生できる」という専修念仏の教えを継承して、阿弥陀如来の本願力を信じる「他力の念仏」を説きました。当時ほとんどの宗派で禁じられていた「肉食妻帯」をした僧侶でもあります。

Q3 教科書で習ったような…？

親 鸞はのちの日本の歴史や文化に大きな影響を与えた人物で、その業績は小・中学校や高校の教科書にも紹介されています。また親鸞の没後、門弟の唯円が親鸞の言葉を記したとされる『歎異抄』は、世界中の人々に親しまれ、今も多くの人に影響を与えています。

Q4 浄土真宗ってどんな教え？

「た くさんの寄進をした権力者や厳しい修行に耐えた僧でなくても、阿弥陀如来のはたらきによりだれもが極楽往生できる」という教え。それまでの僧侶には結婚をしない、肉（魚）を食べないなどの厳しい戒律があったが、「戒律を守ることのできない庶民も救われる」という考えから、浄土真宗ではそれらを禁じない。



親鸞83歳の姿を描いた「安城御影（あんじょうのごえい）」（東本願寺蔵）

親鸞聖人 あれこれ エピソード

※親鸞の子の数や関係性には諸説あり、宗派や寺院によって見解が異なります。

い 公家出身なんです
親鸞の生まれた場所は不明だが、山城国日野（現在の京都市伏見区日野）とも伝わる。藤原北家の流れを汲む公家・日野有範の長男として生まれた。ただあまり上位の公家ではなく、親鸞幼少期に母・吉光女は亡くなったとも、あるいは両親ともに亡くなったとも伝えられる。

ろ のちの比叡山の座主も驚く天才
親鸞が出家得度したのは9歳の時。得度の師である慈円僧正はのちに天台座主となる高僧で、予定より遅れて到着した親鸞に「剃髪式は明日にしよう」と伝えたが、親鸞は「今咲いている桜を明日見ようと思っても、夜の嵐で散ってしまうかもしれません」と迫り、慈円を感心させたという。

は 忍耐力がスゴイ！
出家した親鸞は比叡山に入り厳しい修行に励むが、そこでは真の救いを得ることはないと考え、29歳で下山。京都・吉水（現在の知恩院御影堂付近）で専修念仏の教えを説いていた法然の草庵を訪ねる。100日間、雨の日も風の日も辛抱強く通い続け、ついに法然の門弟となった。

に あまりの人気ぶりに流罪に…
親鸞は法然のもとで充実した日々を送った。法然のわかりやすいお念仏の教えは庶民の間に急速に広まった。しかし同時にそれは既存の宗派の反発を招き、また御所の女官が無断で法然門下に帰依したこともあって、朝廷は専修念仏を弾圧。法然、親鸞らは流罪となった。

ほ 仏教界を揺るがす破天荒
親鸞は、当時どの宗派も禁忌としていた肉食妻帯を公然と行った。これは「戒律を守る僧侶も肉食妻帯する庶民も、阿弥陀如来の"すべての生きとし生けるものを救いたい"という願いにより等しく救われる」という教えを実践したものだ。妻・恵信尼との間に3男3女をもうけた。

へ 実は謎に包まれているんです
数多くの書物を残した親鸞だが、自伝は残しておらず、実は実子の数も含めて不明な部分が多い。ただ大正10年（1921）に、妻・恵信尼が末娘の覚信尼へあてた手紙「恵信尼消息」が西本願寺で発見され、そこに記された回想描写は、親鸞の生涯を知る貴重な資料となっている。

と いつも家族と一緒にでした
親鸞は承元1年（1207）に越後（現在の新潟県）に流され、赦免されてからも京に戻らず（諸説あり）常陸（現在の茨城県）で布教を続けるが、その間常に家族と一緒にだった。末娘の覚信尼は親鸞52歳、恵信尼43歳の時の子で、当時としては大変な高齢出産だった。

ち 90歳のご長寿！
平均寿命は24歳だったといわれる鎌倉時代にあって、親鸞は90歳という大変な長寿だった。生活習慣や食生活もさることながら、「阿弥陀さまのお心のまま、あるがままを受け入れる」という、親鸞の心の持ちようも関係しているかもしれない。

時代や国境を越えて 人々を魅了する 親鸞聖人

親鸞の教えは宗教や宗派を問わず、多くの人に影響を与えてきた。テレビアニメ「休さん」でおなじみの一休禪師は親鸞二百回遠忌法要に出席し、「襟巻のあたたかそうな黒坊主 こやつが法は天下「なり」と詠んだという。親鸞像を「黒坊主」と揶揄したのはいかに破天荒で知られた一休らしいが、同時に「天下「なり」と最大級の賛辞を贈っている。

昭和を代表する歴史小説家・司馬遼太郎も親鸞に魅了されたひとり。エッセイに「鎌倉（時代）というのは、一人の親鸞を生んだだけでも偉大だった」と書き残し、また第二次世界大戦で徴兵されている間は、親鸞の言葉をまとめた『歎異抄』をずっと離さなかったという。『歎異抄』の評価は海外でも高く、その教えを戯曲化した倉田百三の『出家とその弟子』は、ノーベル文学賞を受賞したフランスの作家ロマン・罗兰からも絶賛されている。

親鸞聖人 人物相関図

浄土宗開祖の法然上人に師事し、
6人の子供に恵まれ、また多くの門弟を育てた親鸞。
ゆかりの人物との関係性や時代背景を知れば、
親鸞のことがもっと理解しやすくなる！

※人名や関係性などには諸説あり、
宗派や寺院によって見解が異なります。

婚姻関係
親子関係

母
吉光女？
きこうむすめ

父
日野有範
ひのありのり

弟
行兼
ぎょうけん

弟
有意
うい

弟
兼有
けんう

弟
尋有
じんう

妻
恵信尼
えしんに

官人(行政官)の娘で、親鸞より9歳年下といわれる。婚姻時期は不明だが、流罪地の越後で子を産んでおり、行動をともにして親鸞を支えたとされる。

親鸞聖人
しんらんしょうにん



尊敬

聖徳太子
しょうとくたいし

飛鳥時代に仏教興隆に尽力した皇族。親鸞は太子を強く慕っており、晩年の和讃の中でも「和国の教主聖徳皇 広大恩徳謝しがたし」と讃えている。親鸞が比叡山下山後に百日参籠した京都・六角堂は太子の創建で、本尊如意輪観音は太子の持仏と伝わる。

法然上人
ほうねんしょうにん

浄土宗の開祖。幼くして父を亡くし、比叡山で修行。承安5年(1175)に下山して、吉水の草庵(現在の知恩院御影堂の辺り)で、「念仏を称えれば死後は平等に往生できる」という専修念仏の教えを説いた。親鸞が六角堂で夢告を得て法然の門下に入ったのは、建仁1年(1201)のこと。入門後わずか4年で門外不出に住した。

後鳥羽上皇
ごとうほうじょうこう

第82代天皇。建久9年(1198)に土御門天皇に譲位し、以降承久3年(1221)までの23年間、上皇として院政を敷いた。当初専修念仏に寛容な立場だったというが、建永1年(1206)、上皇が熊野詣で留守の間に小御所の女房が専修念仏に帰依し、御所に戻らないことを知ると激怒。念仏停止の宣旨を出し、法然門下の内4人は死罪、法然や親鸞を含む8人は流罪となった。

日野範綱
ひのりつな

平安末期、鎌倉時代の公卿。後白河上皇に近侍していたが、平氏の台頭により失脚。親鸞の伯父にあたり、幼少の親鸞ら兄弟を養育し、親鸞の出家に立ち会った。

得度の師

期待

慈鎮和尚慈円
じちんかうじょうじえん

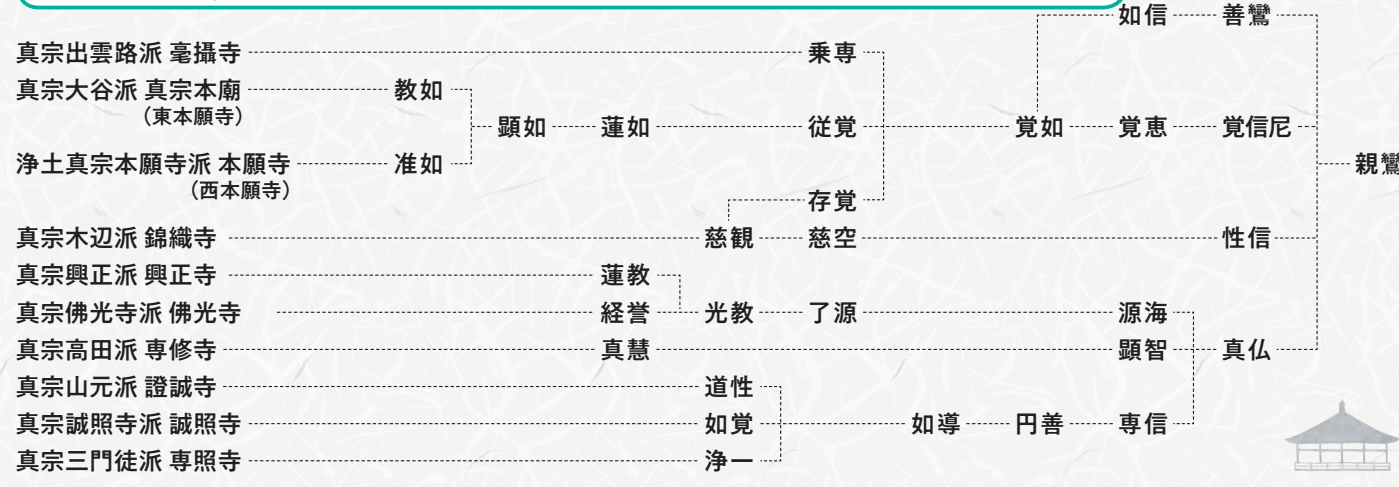
天台座主を4度も務めた高僧。親鸞は養和1年(1181)、当時三条白川坊(後の青蓮院)に住持していた慈鎮のもとで出家得度した。有名な「明日ありと思ふ心のあだ桜 夜半に風の吹かぬものは」の歌は、その時親鸞が詠んだもの。兄の九条兼実が専修念仏に理解を示し、延暦寺の抑圧から庇護した。

期待

師僧

真宗十派

親鸞の教えを伝える浄土真宗は長い歴史の中でいくつにも分かれ、現在主な10派で真宗教団連合を組織している。



貞永1年(1232)ごろに親鸞が京に戻った後も関東では残った門弟らが教えを広めたが、なかには教えを曲解する者もあり、門徒に動揺が広がった。それを収めるべく関東へ下ったのが善鸞。しかし善鸞自身も次第に異端に走り、ついに親鸞から義絶されたという。その手紙は善鸞義絶状などと呼ばれ、専修寺(P11)に写本が伝わっている。

元仁1年(1224)に常陸国で生まれる。常に親鸞に同行し、京に戻ってからその布教を支えた。親鸞は没後大谷の地に葬られるが、10年後の文永9年(1272)、覚信尼は全国の門弟の協力を得て、吉水の北(現在の知恩院三門北側)に改葬して廟堂を建立する。それが後に、大谷本願寺となった。

親鸞聖人の生きた時代

文永9年 (1272)	文永5年 (1268)	弘長2年 (1262)	建長8年 (1256)	建長4年 (1252)	宝治1年 (1247)	延応1年 (1239)	貞永1年 (1232)	寛喜2年 (1230)	元仁1年 (1224)	承久3年 (1221)	承久1年 (1219)	建保2年 (1214)	建暦2年 (1212)	建暦1年 (1211)	建永2年 (承元1年) (1207)	元久2年 (1205)	建仁1年 (1201)	建久3年 (1192)	建久2年 (1191)	文治1年 (1185)	養和1年 (1181)	治承4年 (1180)	承安5年 (1175)	承安3年 (1173)	保元1年 (1156)	長承3年 (1134)	天喜1年 (1053)	永承7年 (1052)
親鸞の墓を大谷から吉水の北に移し、廟堂を立てて影像を安置する	恵信尼、このころ死去	茶毘に付す	親鸞、善鸞を義絶	鎌倉大仏造営	宝治合戦(三浦氏の乱)	後鳥羽上皇、隠岐で崩御	御成敗式目の制定 親鸞、このころ京に戻る	寛喜の大飢饉	この年、親鸞の主著『教行信証』完成と伝わる 親鸞の娘・覚信尼生まれる	承久の乱。後鳥羽上皇、隠岐に流罪	源実朝、公暁に暗殺される	親鸞、このころ常陸国稲田(現在の茨城県空間市)に草庵を結ぶ(親鸞関東時代の拠点)	法然、京都東山大谷で死去	親鸞の子・栗沢信蓮房明信生まれる 親鸞赦免される	念仏停止の宣旨(承元の法難) 法然は土佐に流罪、親鸞は越後に流罪	藤原定家ら『新古今和歌集』を編纂	親鸞、六角堂に百日参籠し、夢告を得て法然の門下に入る	源頼朝、征夷大將軍に任ぜられる	宋西帰国、臨済宗を伝える	壇ノ浦の戦いで平氏滅亡。鎌倉幕府成立	親鸞、慈円のもとで出家得度、以後20年間、比叡山延暦寺で修行 養和の飢饉	治承・寿永の乱(源平合戦) 始まる(1185年)	法然、浄土宗(専修念仏) 開宗	親鸞生まれる	保元の乱(後白河天皇方と崇徳上皇方が対立し武力衝突)	長承の飢饉	藤原頼通が父・道長から譲り受けた別荘を平等院鳳凰堂に改修	末法の世の始まり(仏滅から2000年、末法の初年とされた)

※年代には諸説あり、宗派や寺院によって見解が異なることがあります。

全国ゆかりの地MAP

●●●●●●●●●●
親鸞の教えは全国に広がるが、それには親鸞の教えを伝えた24人の高弟「二十四輩」の活躍が大きい。彼らが開いた「二十四輩寺院」の場所を踏まえつつ、各地に残る親鸞の軌跡を追ってみよう。



茨城県

親鸞が布教するうえで、関東での活動拠点となった茨城県には、特に多くの二十四輩寺院がある。親鸞が暮らした福田、小島、大山の各草庵跡も残る。

【旧跡】

- 福田草庵跡（西念寺）（笠間市福田469）
- 大山草庵跡（東茨城郡城里町阿波山）
- 小島草庵跡（下妻市小島）

【二十四輩寺院】

- 第1番 性信 報恩寺（常総市豊岡町丙1586-1）
- 第3番 順信 無量壽寺（下富田）（鉾田市下富田542）
無量壽寺（鳥栖）（鉾田市鳥栖1013）
- 第4番 乗然 如來寺（石岡市柿岡2741-1）
- 第5番 信樂 弘徳寺（結城郡八千代町新地547）
- 第6番 成然 妙安寺（一ノ谷）（猿島郡境町一ノ谷498）
妙安寺（三村）（坂東市みむら1793）
- 第7番 西念 宗願寺（古河市中央町2-8-30）
西念寺（坂東市辺田355-1）
- 第8番 證性 青蓮寺（常陸太田市東連地町200）
- 第9番 善性 東弘寺（常総市大房93）
- 第12番 善念 善徳寺（常陸大宮市鷺子1731）
善重寺（水戸市酒門町2096-2）
- 第14番 定信 阿彌陀寺（那珂市額田南郷375）
願船寺（那珂郡東海村石神外宿1047）
- 第15番 入西 枕石寺（常陸太田市上河合町1102-1）
- 第16番 入信 壽命寺（常陸大宮市野口3042-1）
- 第17番 念信 照願寺（常陸大宮市鷺子2236）
- 第18番 入信 常福寺（つくば市大曾根685-1）
- 第19番 明法 法專寺（常陸大宮市東野921）
上宮寺（那珂市本米崎2270）
- 第20番 慈善 常弘寺（常陸大宮市石沢1467）
- 第21番 唯仏 淨光寺（ひたちなか市館山9015）
- 第22番 唯信 唯信寺（笠間市大田町436）
- 第23番 唯信 信願寺（水戸市緑町1-2-1）
覚念寺（日立市金沢町4-14-24）
- 第24番 唯門 本泉寺（常陸大宮市野上1264）
西光寺（常陸太田市谷河原町735）

岩手県・宮城県

二十四輩の多くは関東を中心に活動したが、第10番是信と第11番無為信は、東北の岩手・宮城まで親鸞の教えを広めた。

【二十四輩寺院】

- 第10番 是信 本誓寺（岩手県盛岡市名須川町3-16）
- 第11番 無為信 稱念寺（宮城県仙台市青葉区新坂町10-3）



新潟県

新潟（越後）は流罪となった親鸞が流された地。親鸞が上陸した居多ヶ浜、流罪中の親鸞が暮らした竹之内、竹之前の草庵跡などがある。恵信尼の廟所もある。

【旧跡】

- 居多ヶ浜（上越市五智）
- 竹之内草庵跡（国分寺）（上越市五智3-20-21）
- 竹之前草庵跡（国府別院）（上越市国府1-7-1）
- 恵信尼公廟所（国府別院飛地境内）（上越市板倉区米増）

【二十四輩寺院】

- 第11番 無為信 無為信寺（阿賀野市下条町8-21）



福井県

福井は流罪となった親鸞が越後に向かう途中に立ち寄り、教えを説いた場所。真宗10派中、4つの本山がある。

【真宗十派本山】

- 毫攝寺（P12参照）
- 誠照寺（P13参照）
- 専照寺（P14参照）
- 證誠寺（P14参照）

京都府

親鸞が生まれたと伝わる日野（現在の伏見区）、得度した青蓮院、夢告を得た六角堂（頂法寺）など、ゆかりのスポットは数えきれないほど。真宗10派中、4つの本山がある。

【ゆかりの寺院】

- 法界寺（京都市伏見区日野西大道町）
- 誕生院（京都市伏見区日野西大道町）
- 青蓮院（京都市東山区粟田口三条坊町）
- 六角堂（頂法寺）（京都市中京区六角通東洞院西入堂之前町）
- 岡崎別院（京都市左京区岡崎天王町）
- 安養寺（吉水）（京都市東山区円山町）
- 光円寺（京都市下京区松原通新町西入数下町）
- 延仁寺（京都市東山区今熊野総山町）
- 崇泰院（京都市東山区林下町）

【真宗十派本山】

- 西本願寺（P8参照）
- 東本願寺（P9参照）
- 興正寺（P10参照）
- 佛光寺（P10参照）

千葉県・栃木県・群馬県・東京都・神奈川県

親鸞は訪れる人を草庵で待つのではなく、積極的に出かけて教えを説いた。弟子たちの寺の広がりを見ると、親鸞の行動範囲がいかに広がったかわかる。

【二十四輩寺院】

- 第1番 性信 報恩寺（東京都台東区東上野6-13-13）
- 第2番 真仏 専修寺（栃木県真岡市高田1482）
- 第5番 信樂 弘徳寺（神奈川県厚木市飯山455）
- 第6番 成然 妙安寺（群馬県前橋市千代田町3-3-30）
- 第7番 西念 長命寺（千葉県野田市上花輪1358）
- 第13番 信願 慈願寺（健武）（栃木県那須郡那珂川町健武1220）
慈願寺（烏山）（栃木県那須烏山市中央2-3-15）
- 第17番 念信 照願寺（千葉県いすみ市大原10670）

滋賀県・三重県

滋賀と京都の府県境にある比叡山延暦寺は、若き日の親鸞、法然らが修行した場所。錦織寺、専修寺はそれぞれの地域の信仰の拠点となっている。

【ゆかりの寺院】

- 比叡山延暦寺（滋賀県大津市坂本本町4220）

【真宗十派本山】

- 錦織寺（P12参照）
- 専修寺（P11参照）

※親鸞ゆかりの史跡・寺院については諸説あり、真偽についてはいまま研究が進められています。

浄土真宗各派 ご本山へご参拝

京都府

豪華華麗な桃山文化を伝える「お西さん」

浄土真宗本願寺派本山 西本願寺

■じょうどしんしゅうほんがんにほんざんにしほんがんに

親

鸞聖人の末娘・鸞信尼と門弟たちが、京都東山の太谷に建てた聖人の廟堂を始まりとする。室町時代、第8代蓮如上人は教化に励み、教えは近畿、東海、北陸に広まったが、比叡山の反感を買い、本願寺は破却された。その後、大坂石山、紀州鷲森

など各地を転々としたのち、天正19年（1591）、豊臣秀吉の寄進を受け、現在地に寺基を定め、寺は門信徒の念仏道場であるとともに、豪華華麗な桃山文化の宝庫という顔も併せもち、御影堂、阿弥陀堂、書院、飛雲閣、唐門などは国宝に指定されている。



●御影堂の内部。外陣（げしん）と呼ばれる場所では般の方も自由に参拝できる



●幅62m、奥行き48mの巨大な国宝御影堂

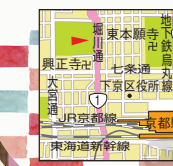
●絢爛豪華な桃山文化を伝える国宝唐門（2022年まで修復中）



DATA

☎075-371-5181

●京都府京都市下京区堀川通花屋町下ル ●市バス停西本願寺前、京阪バス停西本願寺からすぐ ●境内自由 ●5時30分～17時 ●無休 ●あり



京都府

世界最大級の木造建築を擁する「お東さん」

真宗大谷派本山 東本願寺

■しんしゅうおたにはほんざん ひがしほんがんに



●巨大な御影堂は世界最大級の木造建築

正 式には「真宗本願」という。

慶長7年（1602）、第12代教如上人は徳川家康から寺地を寄進され、この地に東本願寺を創立。これをもって本願寺は東と西に二分した。翌年に阿弥陀堂、翌々年に御影堂を建立した。その後4度の火災に遭っており、現在

の堂宇は明治28年（1895）の再建。京都三大門のつとにわれる御影堂門をくぐると、正面に親鸞聖人の御真影を安置する御影堂、左手に阿弥陀如来を安置する阿弥陀堂が立つ。御影堂は南北76m、東西58m、高さ38m、世界最大級の木造建築として知られる。



●京都駅近くに壮大な伽藍を構える

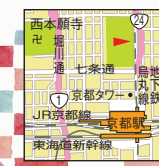


●参拝接待所ギャラリーには史料などを展示する

DATA

☎075-371-9181

●京都府京都市下京区烏丸通七条上ル ●市バス停烏丸七条からすぐ ●境内自由 ●5時50分～17時30分（11～2月は6時20分～16時30分） ●無休 ●なし



周辺のおすすめ立寄りスポット

買う

●いとうきゆうえもん きょうとえきまえてん
伊藤久右衛門 京都駅前店

☎075-748-1320

宇治の老舗茶舗が手掛ける店。スティックタイプの抹茶かぶちの5本583円などのみやげが揃う。●京都府京都市下京区塩小路通烏丸西入ル東塩小路町579 1階 ●東本願寺から徒歩8分 ●10時～18時30分 ●無休 ●なし



カフェ

●うおーでん うっず きょうと
Walden Woods Kyoto

☎075-344-9009

白い空間が印象的なカフェ。自家焙煎コーヒーを使ったこだわりのラテ500円などを提供。●京都府京都市下京区花屋町通富小路西入ル栄町508-1 ●東本願寺から徒歩8分 ●9～19時 ●無休 ●なし



カフェ

●かいがどう かふゑ
Kaikado Café

☎075-353-5668

手作り茶筒の老舗・開化堂が手掛けるカフェ。Kaikadoブレンドコーヒー850円。●京都府京都市下京区河原町通七条上ル住吉町352 ●東本願寺から徒歩9分 ●10時30分～18時30分 ●木曜、第1水曜 ●なし



見る

●しょうせいえん
渉成園

☎075-371-9210

池泉回遊式庭園が広がる東本願寺の飛地境内地。●京都府京都市下京区下珠数屋町通間町東入ル東玉水町 ●東本願寺から徒歩5分 ●寄付金500円以上 ●9～17時（11～2月は～16時。受付は30分前まで） ●無休 ●なし



周辺のおすすめ立寄りスポット

買う

●いまいしけん
今西軒

☎075-351-5825

老舗のおはぎ店。粒餡、きな粉など各200円。●京都府京都市下京区五条通烏丸西入ル一筋目下ル横蔵町312 ●西本願寺から徒歩15分 ●9時30分～売切れ次第終了 ●火曜、第1・3・5水曜（6～8月は毎週月・火曜） ●1台



カフェ

●きんせりかん
きんせ旅館

☎075-351-4781

かつての花街・島原にあるカフェ。大正モダンな雰囲気の中、コーヒーやスイーツを楽しめる。2階は旅館になっている。●京都府京都市下京区西新屋敷太夫町80 ●西本願寺から徒歩15分 ●15～22時 ●火曜 ●なし



食べる

●きょうか(きょうかいかん)
KYOCA (京果会館)

☎なし

食の楽しさを届ける複合施設。鹿児島焼酎と和酒の専門店、珍しいドライフルーツの店など多様な10店舗が入る。●京都府京都市下京区朱雀正会町1-1 ●西本願寺から徒歩15分 ●店舗により異なる ●なし



見る

●すみやもてなしのぶんかびじゅつかん
角屋もてなしの文化美術館

☎075-351-0024

揚屋建築唯一の遺構。●京都府京都市下京区西新屋敷揚屋町32 ●西本願寺から徒歩15分 ●入館1000円（特別公開は要予約、別途800円） ●10～16時 ●月曜（祝日の場合は翌日）、12月16日～3月14日、7月19日～9月14日 ●なし



越

後流罪赦免
後、親鸞聖
人が関東へ布教に
向かう前に、山城国
山科(現在の京都市
山科区)に建立した
という興正寺が起
源。第7世了源上
人の時代に布教の
範囲を西日本一帯に
広げ、寺も汁谷(現
在の京都国立博物館付近)に移
転した。佛光寺の寺号は南北朝時
代、後醍醐天皇が見た「東南から一
筋の光が差す」という吉夢により、
盗まれていた本尊を発見したこと
財に指定されている。



親鸞聖人が京都に築いた
根本道場が起源

京都府

真宗興正派本山
興正寺

しんしゅうつこうしやはほんざんこうしやうじ

DATA

☎075-371-0075
①京都市京都市下京区堀川通
七条上ル ②バス停七条堀川
からすぐ ③境内自由 ④6~17
時 ⑤無休 ⑥あり



親鸞聖人が山城国山科(現
在の京都市山科区)に一
宇を建立し興正寺と名付けたの
が始まり。その後順徳天皇より
「興隆正法」の勅願を受け、真宗
念仏の根本道場となった。第7世
了源上人の時代に汁谷 現在の
京都国立博物館付近)に移転し



幅33m、奥行き41mの巨大な御影堂(左と、
阿弥陀如来像などを安置する阿弥陀堂



鐘楼は江戸時代に皇太后泰
礼門院から寄進されたもの



境内で唯一建立当初の位置
から変わっていない経蔵

佛光寺と改称するが、戦国時代
に第14世蓮教上人が興正寺を
再興して分流。以後本願寺と歩
調を合わせて移転を繰り返して、
天正19年(1591)に現在地に
移った。明治に火災に遭い、建物
の多くはその後の再建だが、大通
りに面して巨大な三門がそびえ
る、壮大な伽藍を
構える。

京都府

真宗佛光寺派本山
佛光寺

しんしゅうつこうしやはほんざんこうしやうじ

DATA

☎075-341-3321
①京都市京都市下京区高倉通仏
光寺下ル新開町397 ②地下鉄烏
丸線四条駅5番出口から徒歩2分
③境内無料 ④9~16時 ⑤無休
⑥なし



親鸞聖人像などを安置す
る大師堂(右)と阿弥陀堂



春には境内中ほどの枝垂
れ桜が美しい

高

田派は親鸞聖人が栃木
県高田に建立した本寺専
修寺を中心に発展。聖人が京都に
戻つた後も真宗根本道場として
関東の門徒の中心を担っていた。戦
国時代には第10世真慧上人らが東
海地方に布教し、三重県身田に寺
院を建立。その後栃木の本寺が兵
火で炎上すると教団の中心が移り、
一身田の寺が高田派本山専修寺と
なった。本尊の阿弥陀如来は、真慧
上人が比叡山で講義した際、学僧
たちから「高田の法流に誤りなし」
と称され、その証拠として贈られ
たことから「証拠の如来」と呼ばれ

三重県

真宗高田派本山
専修寺

しんしゅうたかだはんざんせんじゆじ

DATA

☎059-232-4171
①三重県津市一身田町2819 ②JR
一身田駅から徒歩5分 ③境内無料
④5時30分~17時30分(御影堂・如
来堂拝観は6時~15時30分) ⑤無
休 ⑥300台



この阿弥陀如来を安置する如
来堂と、間口43m、奥行き33mの巨
大な御影堂は国宝。山門ほか11棟
が重要文化財に指定されている。



「証拠の如来」を安置
する如来堂(左)と東
海地方随一の巨大さを
誇る御影堂(右)



御影堂の鮮やかな破風と紅葉が
美しい



如来堂背後の庭園・雲園(うん
ゆうえん)。三重県史跡名勝。拝観
要予約

周辺のおすすめ立寄りスポット

買う

●たかのおはなかいどう
あさつみ
高野尾花街道
朝津味
☎059-230-8701

地元の新鮮な野菜など
を販売する、県下最大級
のファーマーズマーケッ
ト。③三重県津市高野尾町
5680 ④専修寺から約8km
⑤9時30分~17時(店舗に
より異なる) ⑥第3木曜(変
更の場合あり) ⑦317台



食べる

●うなぎおがわ
うなぎおがわ
☎059-233-1682

厳選された鰻を炭火焼で
味わえる。ひつまぶし3564
円。③三重県津市一身田大古
曾975-4 ④専修寺から徒歩
15分 ⑤11~14時、16時~
20時30分(土・日曜、祝日は
11~20時) ⑥月曜(祝日の
場合は翌日) ⑦15台



遊ぶ

●いっしんでんないちやう・
いせもめんのきつけないけん
一身田寺内町・
伊勢木綿の着付け体験
☎059-232-2109
(オカモトヤ)

津の伝統工芸・伊勢木綿
を着て、歴史的な寺内町
の街並みを散策できる。襦
袢・足袋・帯込4400円、要
予約。③三重県津市一身田
町617 ④専修寺から徒歩3
分 ⑤9~17時 ⑥水曜 ⑦4台



見る

●みえけんそうごうはくぶつかん
みえむ
三重県総合博物館
MieMu
☎059-228-2283

三重県の多様な自然や歴
史・文化を大空間で紹介。
③三重県津市一身田上津部
田3060 ④専修寺から約3
km ⑤基本展示観覧520円
⑥9~17時(季節変動あり)
⑦月曜(祝日の場合は翌日)
⑧1400台



周辺のおすすめ 立寄りスポット

買う

●きょうかしやう さやいおり ほんてん
京菓匠
笹屋伊織 本店
☎075-371-3333

老舗和菓子店。毎月20~
22日に代表銘菓のどら焼
を販売。③京都市京都市下
京区七条通大宮西入ル花屋
町86 ④興正寺から徒歩7分
⑤9~17時 ⑥火曜(20~22
日の場合は営業。振替休業あ
り) ⑦なし



食べる

●いかりや ぶち
Ikariya Petit
☎075-276-6012

フランス総菜とワインが充
実。グラスワイン80ml500
円。③京都市京都市下京区
油小路通塩小路下ル南不動
室町3 ④興正寺から徒歩6分
⑤11時30分~14時LO(ラン
チは土・日曜、祝日のみ)、17
~23時LO(日曜は~22時
LO) ⑥月曜、第2火曜 ⑦なし



食べる

●みやこやさい かも きょうえきまてん
都野菜 賀茂
京都駅前店
☎075-361-2732

新鮮朝採り野菜をバイキ
ング形式で味わえる。ラン
チ900円。③京都市京都市
下京区大宮通木津屋橋上
ル上之町439-1 ④興正寺か
ら徒歩7分 ⑤10時~15時
30分、17~22時 ⑥無休 ⑦
提携あり(要問合せ) ⑧なし



見る

●きょうとすいぞくかん
京都水族館
☎075-354-3130

日本最大級の規模を誇る
内陸型水族館。③京都市
京都市下京区観音寺町35-1
(梅小路公園内) ④興正寺
から徒歩10分 ⑤入館2050
円(2020年4月に改定予定)
⑥10~18時(受付は~17
時)※季節により変動あり ⑦
無休(臨時休館あり) ⑧なし



買う

●くろっしえ きょうとほんてん
Crochet
京都本店
☎075-744-0840

伝統的な京あめに、欧州の
発色の技術を取り入れた
美しいあめが人気。30種
以上あり、35~40g648
円。③京都市京都市下京区綾
小路富小路東入ル塩屋町69
④佛光寺から徒歩5分 ⑤10時
30分~19時 ⑥不定休 ⑦なし



周辺のおすすめ立寄りスポット

買う

●でいあんどうとーめんときょうと
D&DEPARTMENT
KYOTO
☎075-343-3217

京都の工芸品や生活用
品などを販売。カフェを併
設している。③京都市京都市
下京区高倉通仏光寺下ル
新開町397 ④佛光寺境内
⑤10~18時(カフェは10時
30分~) ⑥水曜(祝日の場合
は翌日) ⑦なし



カフェ

●いのだこーひほんてん
イノダコーヒ
本店
☎075-221-0507

京都を代表する老舗喫茶。
自慢のコーヒーは600円、
モーニングの「京の朝食」
は1480円。③京都市京都市
下京区高倉通四條下ル高材
木町221-2 ④佛光寺から徒
歩2分 ⑤17時30分~22時
LO ⑥不定休 ⑦なし



食べる

●おかずやいしかわ
お数家
いしかわ
☎075-344-3440

町家を改装したスタイリッ
シュな料理店。京野菜を
使ったおばんざい528円
~が人気。③京都市京都市
下京区高倉通四條下ル高材
木町221-2 ④佛光寺から徒
歩2分 ⑤17時30分~22時
LO ⑥不定休 ⑦なし



知るほど楽しい！ Column

真宗十派って何？

浄土真宗は長い歴史の中でいくつも分派し、今では浄土真宗本願寺派、真宗大谷派など10の宗派に分かれ、それぞれに本山がある。その総称を**真宗十派**という。この真宗十派は、浄土真宗の教えを時代に即応したかたちで広めることにより、社会の不安と混迷を救い、世界平和の進展と人類永遠の福祉に貢献することを目的とした真宗教団連合を組織している。真宗教団連合は、2020年に結成50周年を迎え、2023年に宗祖親鸞聖人御誕生850年、翌2024年に浄土真宗が開かれて800年の記念すべき年を迎えるにあたり、様々な取り組みを進めている。

二十四輩寺院とは？

親鸞の多くの弟子の中でも、特にその教えを正しく理解し伝えた24人の高弟を**二十四輩**と呼び、それぞれが開いた寺院を**二十四輩寺院**と呼ぶ。

親鸞聖人の残した名言を教えて！

親鸞は今の暮らしのヒントにもなる名言をたくさん残している。なかでも有名なのが、「**善人なおもて往生をとぐ いわんや悪人をや**」。これは親鸞の没後、門弟の唯円が親鸞の言葉を記したとされる『歎異抄』にある言葉。ただ親鸞のいた時代から「悪人こそ救われるなら進んで悪事を行え」と曲解する人も多く、親鸞はそれに「業あればとて毒をこのむべからず」とたしなめている。

また『歎異抄』には「**親鸞は弟子一人ももたずそうろう**」という一説もある。これは「彼は自分の弟子だ、あの人は誰の弟子だ」という門徒の取り合いや派閥争いをたしなめた言葉。「それぞれのお念仏は阿弥陀如来のはたらきに促されてしていることで、誰かがさせていることではない。それを勘違いして弟子や門徒を取り合うなど、あり得ないことだ」と論じた。

最後に、「**道俗時衆共同心 唯可信斯高僧説**」。これは親鸞の著書で浄土真宗の根本聖典でもある『教行信証』の中の『正信偈』の最後の一説。「みんな同じ心になって、この高僧の説を信じるべし」という意味で、高僧とは阿弥陀如来の本願を伝えたいインド、中国、日本の7人の僧のことを指す。親鸞は「この高僧の教えがあったから、阿弥陀如来の本願を知り、言い尽くせない喜びを得た。みんなも自分と同じように、本当の幸せになってもらいたい」と願った。



浄土真宗各派 ご本山へご参拝



昭和26年(1951)に復興された御影堂



阿弥陀如来像



境内北側の国道沿いにも入り口があるが、本来の正門は西側

寺の歴史は、親鸞聖人が流刑地の越後に向かう途上で、山元の庄現在の鯖江市水落町に立ち寄り教えを説いたことが起り。聖人はその後赦免され、門徒らは山元再訪を望むが高齢のため果たせず、聖人は代わりに子の善鸞上人を派遣。善鸞上人が諸国教化に出てからは、善鸞上人の子の浄如上人が第3世となり、朝廷から山元山護念院證

誠寺」の勅額を受けた。その後は他宗派との争いなどで移転を繰り返し、寺が現在地に定まったのは元禄3年(1690)のこと。境内にはイチヨウの巨樹がそびえ、秋には一面が黄葉に染まる。

福井県

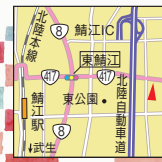
証誠寺

親鸞聖人の子と孫が基盤を築いた黄葉の名所

DATA

☎0778-51-0636

- ⑤福井県鯖江市横越町13-43
- ③JR鯖江駅から徒歩15分
- ①②④境内自由(堂内拝観は要問合せ) ⑥あり



境内中央に立つ御影堂は正面30.3m、側面29.1mの堂々とした構え

正応3年(1290)に親鸞聖人の法脈を継承する如導上人が、現在の福井市大町に建立した大町専修寺が起源。第4世浄一上人の時代に福井市中野に移転し専照寺と改称され、證誠寺(P14)、誠照寺(P13)とともに三門徒衆と呼ばれた。現在地へ移ったのは享保9年(1724)のこと。その後もたびたび火災に遭い、また昭和23年(1948)の



昭和34年(1959)再建の阿弥陀堂。本尊阿弥陀如来像を中心に、聖徳太子、法然上人像を安置する

福井大震災でも大きな被害を受けたが、2007年に全堂の復興工事が完了した。福井大震災で唯一倒壊を免れた御影堂は大保9年(1838)の再建で、市の指定文化財。

福井県

専照寺

北陸に真宗を広めた如導上人開基の寺

DATA

☎0776-36-0229

- ⑤福井県福井市みのり2-3-7
- ③JR福井駅から徒歩20分
- ①②④境内自由 ⑥あり



周辺のおすすめ立寄りスポット

買う

●はこあ だいくとすとあ
Hacoa
ダイレクトストア
☎0778-65-3303

全国に展開する木製デザイン雑貨ブランド・Hacoaの本社工場兼ショップ。木製文具やアクセサリ、インテリア雑貨が揃う。⑤福井県鯖江市西袋町503 ⑥證誠寺から約7.5km ⑦11~18時 ⑧無休 ⑨12台



食べる

●かまめしせんもんてん かまぐら
釜めし専門店 釜蔵
☎0778-52-2846

福井の魚介、若狭牛などの釜めしが味わえる。かに釜めし1980円。⑤福井県鯖江市柳町4-521 ⑥證誠寺から約11km ⑦11~14時、17~21時LO(土・日曜、祝日は11~21時LO) ⑧木曜(祝日の場合は営業) ⑨40台



見る

●うるしのさとかいかん
うるしの里会館
☎0778-65-2727

漆器の歴史的資料や製造工程をパネルや実物展示で紹介。ミュージアムショップもある。⑤福井県鯖江市西袋町40-1-2 ⑥證誠寺から約7.5km ⑦入館無料 ⑧9~17時 ⑨第4火曜(祝日の場合は翌日) ⑩あり



見る

●めがねみゅーじあむ
めがねミュージアム
☎0778-42-8311

歴史ある鯖江のメガネ作りを紹介。めがね型ストラップ作り体験は800円〜。⑤福井県鯖江市新横江2-3-4(めがね会館内) ⑥證誠寺から徒歩10分 ⑦入館無料 ⑧10~17時(めがねショップは~19時) ⑨無休 ⑩50台



買う

●はふたえもちそうぼん まつおかけん
羽二重餅總本舗 松岡軒
☎0776-22-4400

明治創業の老舗。餅粉に砂糖と水あめを加えて練る、伝統的な羽二重餅20枚入り810円。⑤福井県福井市中央3-5-19 ⑥専照寺から約2km ⑦9~18時 ⑧無休 ⑨提携あり



食べる

●おそばだ うどんだ えちぜん
おそばだ うどんだ 越前
☎0776-29-1660

ソースカツ丼850円や越前おろしそば650円など、福井ならではの当地グルメを越前焼の器で味わえる。⑤福井県福井市中央1-1-25 プリズム福井内 ⑥専照寺から約1.8km ⑦10時45分~21時 ⑧無休 ⑨なし



遊ぶ

●やすだかまぼこどうじょう
安田 かまぼこ道場
☎0776-53-2252

老舗かまぼこ店で、本格かまぼこ作りを体験。⑤福井県福井市高柳1-2512 ⑥専照寺から約6km ⑦体験540円~(要予約) ⑧10時~、13時30分~(販売は8~17時) ⑨水曜、12月16日~1月15日 ⑩30台



見る

●ふくいじょうし
福井城址
☎0776-20-5348(福井市観光案内所)

慶長11年(1606)に初代藩主・結城秀康が築城。当時の石垣、堀の一部と、福井の地名の由来となった「福の井」が現存する。⑤福井県福井市大手3-17-1 ⑥専照寺から約2km ⑦⑧⑨見学自由 ⑩なし



おもな年間行事

12月8日

成道会

●じょうどうえ

釈迦が悟りを開いたことを祝う行事。法話会などが行われる

12月31日

除夜会(除夜の鐘)

●じょやえ(じょやのかね)

過ぎた一年を振り返って感謝の気持ちを表す、大晦日の法要。寺によっては一般の参拝者も鐘を撞くことができる



親鸞聖人御誕生850年と 立教開宗800年

真宗10派で構成する「真宗教団連合」では、2023年に迎える「親鸞聖人御誕生850年」、2024年に迎える「立教開宗800年」に向け、さまざまな事業を企画しています。詳細は真宗教団連合公式ホームページ(<http://www.shin.gr.jp/>)で確認を。



4月1日または5月21日前後

降誕会・御誕生会

●ごたんとえ・ごたんじうえ

旧暦の4月1日、あるいは新暦に換算した5月21日に、親鸞聖人の誕生を祝って開催される法要。寺によっては特別なイベントが行われることもある

8月14・15日

または7月14・15日前後

盂蘭盆会

●うらぼんえ

お盆の行事のこと。先祖を迎えて供養する宗派が多いが、浄土真宗では報恩感謝のために行われる。歓喜会ともいう



11月28日または1月16日

と直前の約1週間

報恩講

●ほうおんこう

親鸞聖人の命日にちなんで、遺徳をしのび、御恩に報恩感謝するために勤められる法要。親鸞聖人が入滅した日は旧暦の11月28日であり、各派本山では旧暦でお勤めする宗派と、新暦に換算した1月16日にお勤めする宗派がある



2月15日

涅槃会

●ねはんえ

釈迦が入滅した日に行われる法会。法話や、涅槃図の絵解きが行われることが多い

春分・秋分の日とその前後

彼岸会

●ひがんえ

春分の日と秋分の日を中日としてその前後7日間にわたり行われる法要。浄土真宗では、仏徳讃嘆・仏恩報謝のために勤められる



4月8日

花まつり

●はなまつり

約2600年前に釈迦が生まれたことを祝う行事。生まれたとき、天から甘露の雨が降り注いだと伝えられたことにちなみ、甘茶かけや甘茶の接待を行う寺が多い



発行●真宗教団連合 企画・編集・制作●株式会社JTBパブリッシング

©2020真宗教団連合 / JTB Publishing, Inc. All Rights Reserved.

※本誌掲載のデータは2019年12月末日現在のものです。発行後に、料金、営業時間、定休日、メニュー等の営業内容が変更になることや、臨時休業等で利用できない場合があります。また、各種データを含めた掲載内容の正確性には万全を期しておりますが、おでかけの際には電話等で事前に確認・予約されることをおすすめいたします。なお、本誌掲載内容による損害等は、補償いたしかねますので、あらかじめご了承くださいませよう願いたします。

※本誌掲載の料金は、原則として取材時点で確認した消費税込みの料金です。また、入国料などは、特記のないものは大人料金です。ただし各種料金は変更されることがありますので、ご利用の際はご注意ください。 ※定休日は、原則として年末年始・お盆休み・ゴールデンウィークを省略しています。 ※利用時間は、特記以外原則として開店(館)～閉店(館)です。ラストオーダーや入店(館)時間は通常閉店(館)の30分～1時間前ですのでご注意ください。 ※交通表記における所要時間は、あくまで目安ですのでご注意ください。

※「QRコード」は株式会社デンソーウェブの登録商標です。

※行事は宗派や寺院により、開催時期・内容が異なります。